



## 子どもたちの学びを止めないために

校長 ほうらい きしこ 寶來 生志子

「9月1日から分散登校にする」という通知があったのは8月26日の3時すぎ。そこから、恩田小学校のオンラインを活用した子どもたちの学びを止めない取組がスタートしました。

各学年の代表、情報教育に詳しい教員やオンライン学習を経験したことのある教員で、端末の取り扱いについて子どもたちと確認することを洗い出し、9月1日の授業計画を立て、全教員で共有しました。8月30日、初めて全教職員で



Google Meet を使ってのオンライン会議をやってみました。その後の職員室では、教員たちの学び合う姿、学級の子どもたちを思い浮かべながら授業展開を考える姿がたくさん見られました。

そして、一ヵ月が経ちました。「恩田小学校では、教室、家庭どちらにいても同じように学習することを目指します。」8月31日のメール配信で保護者の皆様に送った時は、そうなってほしいという希望がこもった言葉でしたが、今は子どもたちも教員も端末を用いての授業が板についてきました。



例えば、公園探検に出かけた1年生は、草むらに隠れているバッタを写真に撮っていました。この後、写真を使ってクイズを作ると張り切っていました。



このように、端末を自在に使いこなす子どもたちの姿がどの学年でも見られました。子どもたちの成長は素晴らしいです。子どもたちも教員も、オンラインでもできること、対面の方がよいことなど、いろいろなことを実感したと思います。今後も、端末を活用しながら、より充実した学習活動を目指していきたいです。

「どこにいても心はつながっている。」その思いをもち続けて、子どもたちは頑張ってきました。この一ヵ月間、保護者の皆様のご協力なしには進められなかったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



まだまだ、制約のある生活が続きますが、教職員一同全力で子どもたちを支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。